

- 12月15日[日] 鹿児島で暮らそ!進学・就職応援フェア「みらいワーク“かごしま”」
- 12月16日[月] 北村地方創生担当大臣視察
- 12月17日[火] 観光まごころ県民運動会長表彰式
- 12月17日[火] 在ギニア日本国大使館特命全權大使来庁
- 12月22日[日] 知事と語る“う”車座対話(始良市)
- 12月23日[月] 「かごしまの未来を語る」座談会
- 12月25日[水] 「かごしま」も環境大臣任命式・サミット
- 12月25日[水] 第1回鹿児島県地域強化計画策定有識者会議
- 12月26日[木] ピーチアビエーション「関西―奄美線」初便就航
- 1月1日[水] 県庁舎18階展望ロビーで令和最初の初日の出
- 1月16日[木] 第20回鹿児島・シンガポール交流会議
- 1月18日[土] かごしま就農・就業相談会
- 1月23日[木] ~1月24日[金] WSET講師視察・「かごしま焼酎大使」委嘱
- 1月24日[金] 天海ツナミ選手へ知事表彰 (スポーツ部門特別賞)
- 1月26日[日] まます拡大するベトナムとの交流(テトエネタ)
- 1月26日[日] 世界自然遺産 奄美トトレイル(大和村エリア、瀬戸内町(本島)エリア)開通
- 2月9日[日] 原子力防災訓練

12/15
[日]

鹿児島で暮らそ!進学・就職応援フェア「みらいワーク“かごしま”」



▲ヘアセット体験などが行われたファッション・美容・デザインブース

鹿児島島の魅力あふれる企業や大学・短大・専門学校などを紹介する「みらいワーク“かごしま”」をかごしま県民交流センターで開催しました。当日は、県内の企業や大学などが参加し、ものづくり・食品、IT、医療・福祉、観光などのさまざまな仕事や学習内容などを体験できる体験・展示コーナーや進学・就職相談コーナーが設けられたほか、鹿児島ユナイテッドFC代表徳重剛氏による講演なども行われました。多くの中・高校生・保護者などが参加し、進学や就職について考える機会となりました。



▲パティシエ体験などが行われたものづくり・食べ物ブース

12/23
[月]

「かごしまの未来を語る」座談会



▲意見交換を行う三反園知事と生徒

三反園知事が県立国分高等学校を訪問し、約600人の生徒と座談会を行いました。座談会では、まず、文部科学省からSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受けている同校の「地学班」と「生物班」が研究成果を発表しました。その後、将来の鹿児島について、意見交換を行い、生徒からは明るく、暮らしやすい鹿児島をつくるための具体的な提案が出されるなど、活発な議論が交わされました。三反園知事は、「超えられない現実はない。夢、希望、創造力を持って、一歩踏み出す勇気を大切にしてほしい」と鹿児島島の未来を担う高校生にエールを送りました。



▲研究成果を発表する生徒

1/1
[水]

県庁舎18階展望ロビーで令和最初の初日の出



▲県庁18階展望ロビーからの初日の出

【お問い合わせ先】
県庁管財課
TEL099-286-3798
※詳しくは県ホームページをご覧ください。

鹿児島県
展望ロビー募集



令和最初の初日の出を多くの方にご覧いただけるよう、元日(1月1日)に、県庁18階展望ロビーを開放しました。
初めての試みでしたが、当日は、天候もよく500名を超える方々にご来場いただき、錦江湾に映える「令和最初の初日の出」を楽しんでいただきました。



▲貸し出しを行っている展望ロビー(南側)

なお、県では、18階展望ロビーの東側・北側・南側の各区画を、イベント・展示・会議などのスペースとして貸し出しています。錦江湾の大パノラマが広がる展望ロビーをぜひご利用ください。

1/16
[木]

第20回鹿児島・シンガポール交流会議



▲鹿児島、シンガポール双方の関係者が出席し、さらなる協力を確認

「第20回鹿児島・シンガポール交流会議」をシンガポールで開催しました。
本県からは三反園知事などが、シンガポールからはサムタン・チン・シオン外務省国務大臣などが出席し、鹿児島島の農畜水産物などの輸出促進、観光交流の促進などについて意見交換を行い、8項目のプログラムについて合意しました。



▲経済、観光、文化、芸術、青少年など幅広い分野で意見交換

また、交流会議に併せて、現地の量販店・レストランでの鹿児島フェアや、観光セミナーも開催し、鹿児島島の魅力を広くPRしました。

1/23[木]
1/24[金]

WSET講師視察・「かごしま焼酎大使」委嘱



▲「かごしま焼酎大使」のアントニー・モス氏と講師ら

これからも鹿児島の本格焼酎がどんどん世界に羽ばたき、より多くの方々に飲んでいただけるよう取り組んでまいります。



▲蔵元を視察する様子

英国ロンドンに本部を置く、世界最大のワインと蒸留酒の教育機関WSETの講師10名が来県し、日置市や奄美大島で焼酎の製造工程の見学、蔵元との意見交換を行いました。

また、WSETの新規事業担当ディレクターのアントニー・モスさんに「かごしま焼酎大使」を委嘱し、三反園知事から「本県が誇る本格焼酎の海外における知名度向上・販路開拓にご協力ください」と要請しました。

1/24
[金]

天海ツナミ選手へ知事表彰(スポーツ部門特別賞)



▲チャンピオンベルトを披露する天海選手

肝付町で開催された世界ボクシング機構(WBO)女子ライトフライ級タイトルマッチにおいて見事勝利し、2度目の防衛を果たした天海ツナミ選手へ、知事表彰「スポーツ部門」特別賞を授与しました。



▲試合を振り返り報告する天海選手

天海選手からは、「地元開催の試合は緊張感とプレッシャーがあったが、その分、他の試合とは違う地元の方からのパワーをもらい、感動して涙が出そうだった。県民や地元の方々のため、世界でがんばっていききたい」との言葉がありました。

三反園知事は、「県民に夢と感動を与えていただいて感謝します。今後とも、防衛を重ねられるよう期待しています」と激励しました。

1/26
[日]

ますます拡大するベトナムとの交流(テトフェスタ)



▲技能実習生や留学生など約1000人がフェスタに参加

本県に在住するベトナムの技能実習生や留学生などの皆さんに、旧正月を祝い、故郷を懐かしんでもらう「テト(旧正月)フェスタ」を開催し、約1000名の参加者に、ベトナム料理や踊り、音楽などで大いに盛り上がり楽しんでいただきました。ベトナムは、本県に在住する外国人が最多の国です。昨年10月、関係強化を図るため、ベトナム大訪問団を派遣し、ハイズオン省と人材や農業技術の交流などに関する連携協定を締結するとともに、直行便の就航を要請しました。



▲就航予定が発表されたベトジェットエア

1月13日には、ベトジェットエアからハノイー鹿児島に就航予定であることも発表され、今後、ベトナムとのさらなる交流拡大が期待されます。

1/26
[日]

世界自然遺産 奄美トレイル(大和村エリア・瀬戸内町(本島)エリア)開通



▲瀬戸内町(本島)エリアの開通式

奄美群島の全市町村をつなぐ自然歩道「世界自然遺産奄美トレイル」の大和村エリアと瀬戸内町(本島)エリアの開通式を行いました。大和村エリアは、まほろば大和ウォーキング大会と併せて開催し、約820人が湯湾岳の麓で満開のヒカンザクラの下を歩きました。瀬戸内町(本島)エリアでは約160人が清水からマネン崎展望所まで歩き、大島海峡や清水の集落の景色を楽しみました。



▲村内外から集まった多くの参加者たち(大和村エリア)

関係機関と連携しながら、今夏の奄美の世界自然遺産登録を目指すとともに、今後とも、奄美群島の自然や文化の魅力をもっと多くの方々に楽しんでもいただけるよう、来年の奄美トレイル全線開通に向けて取り組んでまいります。